

20 大都整第 217 号

平成 20 年 10 月 14 日

国土交通省道路局長 殿

大治町長 小 林



今後の道路行政についての意見・提案の提出について（回答）

平成 20 年 9 月 19 日付け国道企第 37 号で依頼のありましたこのことについて、別紙のとおり回答します。

連絡先：大治町役場 建設部 都市整備課 脇田

電 話：052-444-2711

内 線：112

道路は産業活動や住民の日常的な移動を支える基盤ですが、災害時における避難路や防災空間となり、まちの景観にも関連する重要な機能を有しています。

国におかれてましては、高速道路から生活道路までのネットワークの重要性を認識され、緊急かつ計画的に道路整備を進められてきましたが、未だその状況は質・量ともに十分であるとは言えない状況です。

この地域でも、主要地方道名古屋津島線バイパスや名古屋環状2号線が既に事業に着手され、部分的には供用開始がされていますが、その進捗状況は決して芳しいものではありません。また、東海北陸自動車道南伸建設や木曾川・長良川新架橋の促進に向けての早期事業着手を関係機関に対して要望しています。

今後は、地方の声や道路整備の実情に十分配慮し、地方が真に必要なとしている道路整備を遅らせることがないようにするとともに、これに必要なとなる安定した道路財源の確保を図っていただきたいと望むものです。

整備に際しては、それぞれの地域に応じた環境対策技術を導入し、道路整備と生活環境の調和を図り、沿道のまちづくりや誰もが安心して利用できる、人にやさしい道づくりが必要であると考えます。

今後の道路行政についての意見・提案

様式 ②

②-1 地域の現状と抱える課題

愛知県 海部郡 大治町

○現状

当地域では、先に述べましたとおり多くの道路整備計画があり、既に工事着手され部分的には供用開始がされている道路もありますが、全ての事業完了までには今後相当の年月がかかると思われます。

特に、主要地方道名古屋津島線バイパス建設促進と名古屋環状2号線整備促進は、当地域におきましては必要不可欠となっており、早期の完成を切に望むものです。

主要地方道名古屋津島線が完成すれば、慢性的な渋滞が緩和され、海部津島地域の均衡ある発展が期待できます。

また、名古屋環状2号線整備促進のうち特に西南部・南部区間が完成すれば、中部の活力を支える高速道路ネットワークが構築され、更なる中部圏の発展が期待できます。

これまでも、早期完成や補助金の増額等を地域の声として国に対して要望してきましたが、進捗状況は芳しくないのが現状です。

○課題

主要地方道名古屋津島線バイパスと名古屋環状2号線の早期完成には、莫大な費用が必要となり、簡単には解決できる問題ではありませんが、必要箇所の用地取得はほとんど終わっており、あとは工事費等の財源確保が必要なだけと思われます。

今後は、地方の声や道路整備の実情に十分配慮し、地方が真に必要なとしている道路整備・維持管理を計画的に推進していけるよう、地方の意向を反映した安定的な財源の確保を図っていただけるかどうか課題です。

②-2 地域の目指すべき将来像

当地域は、名古屋都市圏の住宅地として発展を遂げてきましたが、今後も主要地方道名古屋津島線バイパス等の広域幹線道路網の整備等により、交通量が一層増加することが予想されます。

市町村道は、国道・県道と一体となって地域に密着した道路網を形成し、地域住民のくらしの利便性・安全性の向上、地域連携や振興、更に福祉や救急医療に大きく貢献する役割を担っています。しかしながら、その整備状況は依然として低い水準にあり、道路整備に寄せる地域住民の期待は切実かつ強いものがあります。

このため、将来の交通量に対応し、車両の円滑な通行及び歩行者・自転車等の安全な通行を確保するため、計画的に整備を行うことにより活気にみちた魅力的な空間を創出し、人にやさしいまちづくりの推進が必要となってきます。

今後は、広域的道路体系を踏まえながら、都市機能の強化を図り拠点市街地の個性あるまちづくりを進めるため、未整備路線の計画的な事業の推進が必要であり、また、整備に際しては生活環境に配慮し、沿道のまちづくりや誰でも安心して利用できる人にやさしい道づくりを目指していきます。

今後の道路行政についての意見・提案

様式 ④

③ 道路施策の重点事項(代表事例、期待する効果や評価等)

愛知県 海部郡 大治町

○重点事項	○代表事例	○期待する効果や評価等	○その他
地域活力の向上 及び渋滞緩和	主要地方道名古屋津島線バイパス建設促進	愛知県海部郡と名古屋市を結ぶことにより、海部津島地域の均衡ある発展を図るとともに、現在の交通渋滞の緩和を図る。	
中部圏発展及び 渋滞緩和	名古屋環状2号線整備促進	名古屋都市圏が産業技術の中核圏域として発展していくためには、名古屋港や中部国際空港と連携し、総合的な交通体系を構築することが必要不可欠である。	
愛知県尾張西部 地域発展	東海北陸自動車道南伸建設促進	東海北陸自動車道と一体となって、太平洋側と日本海側を結ぶ高速交通ネットワークを形成し、名古屋港や尾張西部地域の発展に大きく貢献する。	
地域活力の向上	木曾川・長良川新架橋促進	愛知県海部地域と岐阜県海津地域を結ぶことにより、両地域の均衡ある発展を図るとともに、地域間の渋滞緩和策の推進を図る。	